

J B A 総 発 第 2 5 1 0 6 号

平 成 2 5 年 7 月 2 6 日

都道府県バスケットボール協会  
理 事 長 殿

公益財団法人日本バスケットボール協会  
国体委員長 野村 俊郎  
(公印省略)

国民体育大会バスケットボール競技における少年種別U16導入について  
(ご通知)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より当協会の活動に多大なるご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、標記の件につきまして、7月10日に開催されました当協会理事会にて、5月の理事会でU16導入実施時期を愛媛国体と決定しましたが、その後の日体協との調整の過程で、愛媛県続く福井県の準備状況からU16導入が困難であると日体協および当協会に判断いたしました。つきましては実施時期を茨城国体からに変更することで日体協と調整を進めることを決定しましたのでご通知申し上げます。

本国体改革には都道府県バスケットボール協会皆様の一丸となった対応が重要となっております。貴協会におかれましては関係各位への周知をお願いいたします。

皆様のご理解ご協力を何卒よろしく願い申し上げます。

敬具

記

当協会理事会で決定した下記内容については、日体協と協議の上、実施方法および実施時期について最終決定する。

年齢区分： 1) 早生まれの高校2年生および高校1年生、中学3年生とする。  
※早生まれの高校2年生とは誕生日が1月1日～4月1日を指す。  
年齢が16歳以下が基準となる。

チーム構成： 1) 高校2年生（早生まれ）と高校1年生、中学3年生で構成し、  
合計12名とする。  
2) 中学生2名以上とする。  
3) 中学生を増やす場合は、高校生を減ずる。

U-17、U-18（早生まれを除く高校2年および高校3年）の扱い：

- 1) 国体成年の部に出場することができる。
- 2) 国体成年の部は、高校生（早生まれを除く高校2年および高校3年）だけの編成はできない。
- 3) 国体成年の部への高校生の参加は5名以下とする。

国体ブロック予選と全国中学校大会との調整：

- 1) 国体ブロック予選および国体の予備エントリー制度を導入する。
- 2) 全中大会に出場して国体ブロック予選に出場することが出来ない選手のうち、予備エントリーされた選手が国体に出場できるよう調整する。

実施時期： 1) 平成31年（2019年）茨城国体

以 上